



～iPS細胞+AIによる個別化予防の実現に向けて～

幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム 2020年度年会

「日本発の毒性予測システム」

日 程 : 2020年7月17日 (金) 11:00-16:40

大会長 : 諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所)

会 場 :

→オンラインで開催
(要参加登録)

プログラム概要

◆ 講演

阿久津 英憲 (国立成育医療研究センター研究所)
「幹細胞研究の進捗とES/iPS細胞の品質管理」

斎藤 幸一 (住友化学株式会社)
「発生毒性代替法試験Hand1-Luc EST法の開発」

◆ コンソーシアムの活動報告

毒性物質選定・SOP・細胞標準化・予測システム等

登録受付中!

〈参加登録〉

会 員 : 5,000円

一 般 : 8,000円

学 生 : 無料

(学生証確認)

事前参加登録〆切 :

2020年6月26日 (金)

詳細・参加登録はこちらから :

<https://scchemrisc.stemcellinformatics.org/nenkai2020.html>



幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム 2020年度年会 「日本発の毒性予測システム」

「幹細胞研究の進捗とES/iPS細胞の品質管理」

阿久津 英憲

国立研究開発法人
成育医療研究センター研究所
再生医療センター生殖医療研究部



幹細胞を用いた化学物質リスク 情報共有化コンソーシアム (scChemRISC)

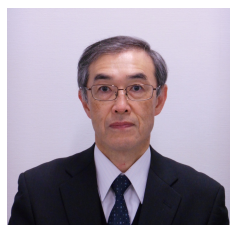
本会は、産官学が連携し、未分化幹細胞及び品質が安定な分化細胞を用いた化合物の反応データベース開発を支援し、今後の企業や研究の現場でヒト細胞へのリスク試験において評価情報の基盤を構築することにより、研究成果を社会に還元することを目的とし、活動しております。

「発生毒性代替法試験

Hand1-Luc EST法の開発」

斎藤 幸一

住友化学株式会社
先端材料開発研究所
イノベーショングループ



コンソーシアムの活動報告

毒性物質選定タスクフォース委員会

委員長：曾根 秀子（横浜薬科大学）

ヒト細胞へのリスク試験に用いる化学物質の選定。1000物質を選定することを目標としており、現在の選定状況を報告。

プロトコル策定タスクフォース委員会

委員長：鈴木 睦（協和キリン株式会社）

データベース構築のための実験プロトコルを策定。現在のSOPを動画を用いて紹介。

細胞標準化タスクフォース委員会

委員長：山下 潤（京都大学iPS細胞研究所）

データベース構築に用いる標準細胞を検討。進捗状況を報告。

毒性予測システム開発委員会

委員長：藤渕 航（京都大学iPS細胞研究所）

将来的なプランを含め、予測システムのモデルの検討。データ蓄積状況を報告。



幹細胞を用いた
化学物質リスク情報共有化コンソーシアム
Stem Cell-based Chemical Risk Information Sharing Consortium (scChemRISC)

お問い合わせ先:

scChemRISC事務局

Email: scchemrisc@cira.kyoto-u.ac.jp